

# 消防団員と消防士 **なに** が違うの？



消防団員

身近な地域の安全を守る

普段は会社員や学生などの本業を持ち、火災や災害などの非常時には消防ポンプ車で現場に駆け付け、消防士と連携しながら消火活動、避難誘導、交通整理などを行います。また、地区からの依頼で、防災訓練などでの啓発活動や祭りの警備などの地区の行事に携わる活動も行っています。



消防士

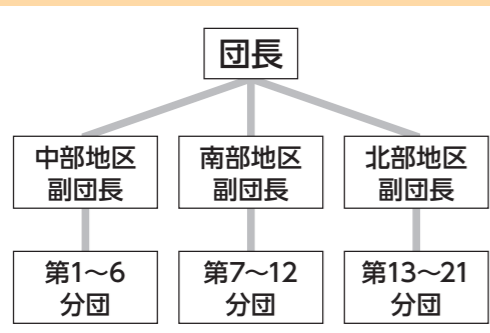
現場の最前線を担う

火災・救助・救急活動のプロフェッショナルで、消防署に勤務しています。災害が発生すると、消防団の援護を受けながら、第一線で消火や救助活動に当たります。また、地域住民への初期消火・救護方法の指導や建物の消防設備の検査などの防災活動も行っています。

消防団員	条件	消防士
市内在住の18歳以上の人		採用試験に合格すること
各地区を基本とする市内 ※火災などの規模が大きいと近隣地区に出動	出動範囲	衣浦東部広域連合(碧南・刈谷・安城・知立・高浜)管内 ※大規模災害時には県外にも出動
316人(21分団計)	人数 (令和4年4月1日時点)	97人(市内3署計)
消防ポンプ車21台(各分団1台)	保有する車	消防ポンプ車、救急車、はしご車、救助工作車 など22台(市内3署計)

## もっと知りたい！消防団

### 組織図



各地区で地域に密着した活動を行っています。

### 日頃の活動成果を披露！観閲式



**時** 3月12日(日) 10時  
**場** 総合運動公園自由広場  
**内** 消防団員と民間企業の特設自衛消防隊が一堂に会してその雄姿を披露します。  
 ※雨天時はウィングアリーナ刈谷で表彰式のみ実施

### 第25回全国女性消防操法大会出場決定

10月に開催される大会に、市内の分団から選抜された女性団員で結成するチームが県代表として出場することになりました。チームワークを高め、全国に挑みます。



特集

## 刈谷市消防団

# 使命感を胸に 地域を守る

消防団は地域住民で構成され、消防士と連携して地域の安全を守っています。消防団と消防署ともに、消防法に基づき設置される組織ですが、活動内容は異なります。今回は、その違いに注目して、消防団員のやりがいや魅力を紹介します。

問 危機管理課 ☎62-1190

ID 1002837